

令和7年8月8日

岡山空襲の痕跡が残る戦災樹木に 説明看板を設置します

市では、「戦後80年記念事業」の一環として、岡山空襲の痕跡が残る2本の戦災樹木に説明看板を設置します。

1 設置日

令和7年8月13日(水)

2 設置場所

岡山城天守そばの遊歩道沿いにある戦災樹木2本

3 内容

戦争の悲惨さを後世に引き継いでいくため、岡山城天守そばにあり、岡山空襲の痕跡が残る2本の戦災樹木に説明看板(縦210mm×横297mm)を設置します。

80年前の6月29日、アメリカ軍の空襲により岡山城も焼失しました。岡山城天守そばにあるエノキの木も炎を浴び、幹の片面が焼けてしまいましたが、80年以上の歳月をかけて、生き残った部分が盛り上がり、焼けて黒くなった部分を覆いそうとする姿を見ることができます。



おなやすくうしやう ひ まい しやちく
岡山空襲で被災した樹木

エノキ



1945年6月29日、アメリカ軍の空襲により当時の岡山市街地の63%が焼け野原となり、岡山城も焼失しました。

岡山城天守のそばにあるエノキの木も炎を浴び、幹の片面が焼けてしまいました。しかし、80年以上の歳月をかけて、生き残った部分が盛り上がり、焼けて黒くなった部分をおおい隠そうとしています。

Trees damaged by the air raid / Japanese hackberry (Celtis sinensis)

On June 29, 1945, in the air raid by the U.S. military, 63% of Okayama City Center was destroyed, and Okayama Castle was also burnt to the ground.

This Japanese hackberry (Enoki), located near the castle tower (Tenshu), was also exposed to the flames and one side of its trunk was burned off. However, over the course of more than 80 years, the surviving parts of the tree have grown and swelled up to cover the burned and blackened parts.



説明看板

戦災樹木

【問い合わせ先】

岡山市 福祉援護課 松本・康乗

直通086-803-1218 内線5450・5454

おかやまくうしゅう ひ さい じゅもく
岡山空襲で被災した樹木

エノキ



ねん がつ にち ぐん くうしゅう どう じ おかやま し がい ち
1945年6月29日、アメリカ軍の空襲により当時の岡山市街地の63%
が焼け野原となり、岡山城も焼失しました。

おかやまじょうてんしゅ き ほのお あ みき かためん や
岡山城天守のそばにあるエノキの木も炎を浴び、幹の片面が焼けてしま
いました。しかし、ねん い じょう さいげつ い の こ ぶ ぶん も あ
焼けて黒くなった部分をおおい隠そうとしています。

Trees damaged by the air raid / Japanese hackberry (Celtis sinensis)

On June 29, 1945, in the air raid by the U.S. military, 63% of Okayama City Center was destroyed, and Okayama Castle was also burnt to the ground.

This Japanese hackberry (Enoki), located near the castle tower (Tenshu), was also exposed to the flames and one side of its trunk was burned off. However, over the course of more than 80 years, the surviving parts of the tree have grown and swelled up to cover the burned and blackened parts.